

第 190 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 3 年 3 月 19 日（金） 13：30～14：55

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 宇津委員 金本委員 花田委員 杉野本委員

事務局 河上部長 草刈課長 市原課長 村瀧副参事 鳥居室長

村木課長 濱見課長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

新型コロナウイルス感染防止に伴う出席者の調整のため、議題、報告資料のなかった猪木迫参事、龍河副参事、平岡室長、佐々尾分室長、細川分室長、三浦分室長、小松分室長は、欠席。

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市立学校施設利用要綱の一部改正について（資料 1）
- (2) 浜田市教育支援センター「山びこ学級」の移転について（資料 2）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

ようやく春らしい天候になってきた。今日も少しぼかぼかして気持ちがいい天候で、昼休憩の間に松原湾まで歩いた。本日の午前中で、幼稚園、小学校、中学校の卒業式、卒園式が全て終了している。今回は委員方、私たちも出席をすることができなかったが、子どもたちは新たな希望を持って元気に巣立っていったと思っている。

また、中学校では修学旅行に行っている学校がある。年内に 1 校、それから 3 月に行う学校が 5 校、来年度に延期をしている学校が 3 校ある。本日、第二中学校と第三中学校が修学旅行から帰ってくるが、帰ってきて 2 週間ぐらいは少し様子を見ていきたいと思う。一応、予定どおりに修学旅行が終わるということで、今年度の学校行事等も大体終わって、24 日の終業式を迎える。今年度についても児童生徒は色々なところで頑張ったと感じている。

それでは資料に基づき、この1か月間を振り返る。

- ① 2月19日(金)第189回浜田市教育委員会定例会(2階会議室)
前回の定例会を2月19日に開催した。
- ② 2月19日(金)美川連合自治会との意見交換会(美川公民館)
美川連合自治会から今まで何度も要望や陳情等をいただいていたが、今年1月18日付で新たな陳情が出された。新しい地域拠点となる様な学校統合や学校整備をしてほしいといった要望であった。それについての回答を美川連合自治会の役員の方々にお伝えしている。市長の思いとして議会等でも話されているが、学校統合によって地域が寂れる様なことがあってはいけないという思いを市長は持つておられる。また、小学校については、単に小学校の教育をする場だけではなく、地域の色々な活動の拠点として、つまり学童保育や防災の拠点、また地域の交流の場として存在すべきであると市長は思っておられるため、新たに美川小学校を建設する時には、そういった機能を持った施設を建てたいと19日に回答している。
- ③ 2月24日(水)3月市議会定例会議・施政方針・教育方針・提案説明・全員協議会
2月25日(木)3月市議会定例会議・会派代表質問
2月26日(金)3月市議会定例会議・個人一般質問(1日目)
3月1日(月)3月市議会定例会議・個人一般質問(2日目)
24日から3月の市議会定例会議が始まった。初日には教育方針について、委員方にお目通しいただいて、色々なところをご指摘いただき作り直したものを私から読み上げさせていただいた。その後、会派代表質問、個人一般質問と続いている。
- ④ 3月1日(月)令和2年度末教職員人事異動・内示(転居を伴う異動など)
今年度末の転居を伴う教職員人事異動の内示を行った。
- ⑤ 3月9日(火)令和2年度第2回浜田市文化財審議会(2階会議室)
令和2年度、第2回目の浜田市文化財審議会が開催された。
- ⑥ 3月10日(水)3月市議会定例会議・予算決算委員会(議場)
3月11日(木)3月市議会定例会議・予算決算委員会(議場)
予算決算委員会であるが、3月10日で終わらず3月11日に2日目が行われた。2日目の15時前ごろに終わったが、教育委員会は毎年多くの質問を受けるが、今回は30項目の質問があ

った。

- ⑦ 3月13日(土) 第20回石見国巡回講座・ワークショップ「まち歩き 浜田の歴史～中世から近世の記憶をたどる～」

これは県の教育委員会が主催し、浜田の街中、歴史に関係があるところを回りながら、ウォーキングをするイベントであった。募集より遥かに多い、56名の方々が参加された。12月には市の教育委員会主催の浜田城下町ウォークが開催されたが、このイベントにも40名ぐらいの方々が参加されていた。浜田開府400年事業以来、歴史に対する関心を持つ市民の方々が増えてきていると感じている。

- ⑧ 3月15日(月) 令和2年度末教職員人事異動・内示
教職員人事異動の正式な内示を行った。

- ⑨ 3月16日(火) HAMADA 教育魅力化コンソーシアム設立総会(中央図書館)

これについては、後ほど生涯学習課長から詳しい説明があるが、高校の魅力化コンソーシアムを立ち上げることを目標に10年間ずっと取り組んできた。教育の魅力化と書いてあるが、高校の魅力化コンソーシアムのことである。高校の魅力化だけに限定するのではなく、そこから浜田市内全ての教育の魅力化に繋げていこうといった取組内容なので、名称的には「高校」を外して、教育の魅力化コンソーシアムと名前が付けられた。今まで高校の魅力化に取り組んできたのは浜田市内の3校であったが、今回はこれに浜田ろう学校と浜田養護学校も加わり、県立高校3校が中心となって、小学校、中学校、県立大学とも連携しながら取組を進めていく。それから経済団体、公民館等も含めて10団体で教育の魅力化コンソーシアムを立ち上げている。

- ⑩ 3月16日(火) 令和2年度浜田市子ども若者支援地域協議会代表者会議(中央図書館)

代表者会議は、年に1回、毎年この時期に行っている。いわゆる39歳までの困難を抱える子ども、若者への支援ということで、具体的にはひきこもりであったり、ニートであったり、高校を中退した方であったり、不登校の方を含めて支援をする。教育関係、福祉関係、保健医療関係、就労雇用関係、更生保護関係等の25の機関が集まって、色々な支援について情報交換をしたり情報提供をしたりする会議を行った。

⑪ 3月17日（水）白砂公民館文部科学大臣表彰受賞報告市長表敬（市長応接室）

白砂公民館が優良公民館として表彰を受けた。この報告のための市長表敬に同席をしている。今年度は全国で65館が表彰され、島根県内は2館あり、その内の1館が白砂公民館であった。白砂公民館は以前から特産の西条柿を使った色々な地域おこしに取り組んでおり、最近ではまちづくり推進課との連携で色々な事業をしているところが評価されたと聞いている。こちらについても後ほど生涯学習課長から詳しく説明がある。

⑫ 3月19日（金）教育委員と社会教育委員の意見交換会（2階会議室）

本日、午前中に教育委員と社会教育委員の意見交換会が行われた。私は欠席をしたが、グループで話し合いをされたとのことで、より深い社会教育委員の方々の思いを聞くことができたのではないかとと思っている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

宇津委員

3月17日に公立幼稚園の今後のあり方（案）についての市民説明会が開かれているが、特に出席要請がなかったため私は欠席したが、説明会の中で特段、要望等などがあつたのであればお聞かせいただきたい。

石本教育長

実は、この説明会はコロナの関係もあつて事前に申込みをしていただいている。最終的に市民の方で申し込まれた方は2名であった。市内全域を対象としていたが、2名の方のみの申し込みで2名とも、美川の方であった。美川幼稚園がなくなるということで関心が高かつたと思われる。それから2名の議員が来られて、合計4名であった。それに対し執行部から7、8名が出席しており、執行部の方が人数が多い中、説明会を行った。説明会での意見としては、幼児教育センターのあり方について1人の方は話をされて、もう1人の方は美川幼稚園では自然体験を十分行っている、長浜幼稚園に統合しても自然体験の活動を続けてほしいといった意見があつた。実はその方は、小学生、中学生と一緒に地元で自然体験活動を推進しておられる方で、特に自然体験への思いを強く話された。課長、ほかにあれば。

草刈課長

先ほども言われたとおり、2名の方は美川の地域の方で地域活動に尽力していただいた方であった。自然体験について自分がやってきたことを話されて、美川幼稚園の歴史についても詳しい方で、古い話から大変勉強になった。3園が統合となっても、地元の特徴を大事にして魅力的な園にしてほしいという話もあった。幼児教育センターのあり方について、公立や民間が行うこともこれから将来にあたって同じ様なレベルになっていくのであれば、実際の幼稚園、保育園、こども園も含めて民間に任せて、幼児教育センターに注力した方がよいのではといった提案もいただいた。通級教室やその他、特別に支援が必要な子どもたちの対応については民間では中々難しいと話をされて、そこは公立が現時点ではやれるのではないかと話が出て、その辺りは理解をしていただけなのではないかと思う。それから幼稚園をこども園にできないかといった話もあり、浜田市が先に保育園を民営化しているため、保育部門を公立がまた行うとなるとそういったところの調整、軋轢もあり、公立幼稚園でということで一定の理解はされたのではないかと思う。また、情報発信等を工夫して、マスコミにも取り上げてもらいたいという話もあった。

宇津委員
石本教育長
各委員

承知した。
その他はよろしいか。
特になし。

2 議題

(1) 浜田市立学校施設利用要綱の一部改正について（資料1）

村木課長

浜田市立学校施設利用要綱は、浜田市立の小学校、中学校の施設を学校教育活動の支障のない範囲内において一般開放することによって、体育活動や文化活動を円滑に推進する目的で定められたものである。今回改正の理由であるが、それぞれ以下18の小中学校に利用状況の確認をさせていただき、来年度以降利用可能かどうか改めるものである。ページを捲っていただき、2ページから5ページまで新旧対照表を載せており、表の左側が現行、右側が改正後（案）である。学校ごとに祝日、土曜日、日曜日と平日で一般の方が利用できる時間の調査をして、それぞれ令和3年4月1日以降に修正を行いたいと思う。以上である。

石本教育長

利用できる時間がばらばらなのは、当然学校によって学校教育活動に支障なく利用できる時間がばらばらであるということか。

村木課長	そうである。
石本教育長	今の説明に対し、質問等はあるか。
宇津委員	学校現場の意向も踏まえた上で、改正案が作られているのか。
村木課長	そうである。それぞれ個別で学校と調整した上で提案させていただいている。
石本教育長	終わりの時間が午後 10 時であるが、学校施設の周辺の方から苦情が出ることはないか。
村木課長	今までのところでは出ていない。
石本教育長	そういった声は聞こえてこないか。社会人の方が利用されるケースが多いと思うので、やはり仕事が終わって集まるとなれば午後 7 時とか午後 7 時半からだと思う。したがって午後 10 時まで時間を取らないと難しいということか。
村木課長	やはり、午後 8 時から利用される方々が多い。階層があり、最初の階層は放課後の階層があって、次にスポーツ少年団の階層が大体午後 6 時から 8 時頃まで、午後 8 時から 10 時までが一般の階層となっている。大体、学校が終わって 2 つから 3 つくらいの階層が使われているようである。
石本教育長	非常によく利用されている。
村木課長	現在は 96 団体が登録している。文化活動での登録はなく、スポーツ団体のみ登録である。
石本教育長	96 団体全てスポーツ活動であるか。
村木課長	そうである。
石本教育長	体を鍛えるため、また親睦を深めるためにスポーツをすることは非常に意義があることである。学校側に支障が無ければ、是非学校施設を利用していただきたいと思う。
	それでは浜田市立学校施設利用要綱の一部を改正することについて、承認いただけるということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

(2) 浜田市教育支援センター「山びこ学級」の移転について (資料 2)

市原課長	移転の経緯とこれからの流れであるが、平成 22 年度から浜田市勤労青少年ホームで不登校児童生徒の受け入れを行っていたが、令和 2 年度末で浜田市勤労青少年ホームが閉鎖されることに伴い、市内の金融機関の跡地や、団地や空き店舗等で移転先を探していたが中々見つからなかった。資料にも記載しているが、浜
------	---

田市の機構改革の話が夏頃からあり、北分庁舎2階生涯学習課生涯学習係が市長部局に移管されることによる北分庁舎の配置変更に合わせて関係課と協議し、結果的に北分庁舎2階に山びこ学級を移転することになった。児童生徒の学習室は、現在の生涯学習課のフロアを使用し、職員室については現在の浜田子ども安全センターのフロアを使用するという考えている。浜田子ども安全センターについては、青少年サポートセンターの事務室の中に設置することで調整している。4月8日の市内小中学校の始業式に合わせて開設する準備をしていく。それから勤労青少年ホームではテニスや卓球をしたり、調理をしたりできる場所があったが、移転先ではスペースが限られているため、体育の授業については松原にある浜田市健康増進センターすまいるを利用し、調理実習については浜田公民館等の調理室を利用しながら実施していきたいと思っている。色々な困難を抱える子どもたちの利用ということで、出入りについては、青少年サポートセンターの利用者が使われる裏の出入り口を使っていたらいいと思っている。先生方については表の玄関からと考えている。今後は青少年サポートセンターとも連携をしながら、困難を抱える子どもたちのサポートをしっかりとしていきたいと考えている。

石本教育長

質問等あればお願いします。

勤労青少年ホームが閉鎖される理由については、建物に耐震性の問題があるということ、老朽化が進んでいるということか。

市原課長
宇津委員

それと、勤労青少年ホームの法的な理由もあると聞いている。

実は以前は細谷の旧校舎を利用していたが、勤労青少年ホームに移転された。その時に関わらせていただいたが、実に良いところで、自然の中で運動ができたり、テニスもできて良い環境であった。子どもたちにとっては外で日に当たって体を動かしたいと思う子もいるかもしれないし、その辺り、スーッとするような環境を与えてあげたいと思った。ひきこもりがちな子どもたちではないかと思われるので、移転先が決まったとは言え、これからもそういう目で施設を探していただくことを念頭においていただきたいと思う。

市原課長

おっしゃるとおりであると思う。ただ、場所が奥になるとスクールバスを利用したりということもある。今は公共交通機関を使って自分で来られる子もいたり、保護者の方が送迎されたり、程よく街中で、程よく外れたところで、程よくスペースがあるとこ

石本教育長	ろという条件を満たすところが中々見つからなかった。何とか来やすさのところはクリアできたと思う。宇津委員が言われる様に、学校に復帰するための場所としては盤石ではないと思っているため、次を見据えてやっていきたいと思う。
各委員	是非、その様をお願いします。
石本教育長	その他はよろしいか。
日ノ原係長	特になし。
石本教育長	この件は議題に挙がっているが、特段承認をもらうものではない。
石本教育長	大きいことなので挙げている。
石本教育長	承知した。では、移転についてこの様にさせていただく。よろしくをお願いします。

3 部長・課長等報告事項

河上部長	<p>令和2年度一般会計補正予算（第11号）説明資料（資料3）</p> <p>基本的に3月議会の補正については、不用額の調整等を行う。3ページに教育費を載せている。基本的に減額がほとんどである。ただ、コロナの関係の財源振替等もあり、浜田市が事業を行った後に国からの交付金が付いたり、あるいはふるさと寄附を使ったりする場合もある。そういった調整を第11号で行っている。</p> <p>続いて7ページをご覧ください、追加提案分として第12号補正を出している。全体ではコロナウイルス感染症対策の追加支援と財源振替等である。9ページの10教育費をご覧ください、各学校で令和3年度に購入していただくコロナ対策のための消毒関係の事業費であるが、国から令和2年度の予算で付いたため、今回補正をして繰越をする。実際には令和3年度に各学校に配布するものである。</p> <p>令和3年度 当初予算説明資料（資料4）</p> <p>教育委員会として令和3年度はGIGAスクール関係、ICT支援員の事業費等がある。36ページ、新規事業の説明シートをご覧ください、学校施設の緊急改修ということで各校舎が古くなってきているため、突発修繕が多く、計画通りに中々修繕できないということで、今回、3年間で毎年50,000千円ずつ予算を投資して、3年間で150,000千円をかけて一定の修繕をしようと</p>
------	---

ということで財政課、市長からも了解をいただいたので、新規事業ということで、こういったかたちで取組を載せている。これで実際、片が付くのかということそうではなく、また積み残しが出ると思うが、これだけの金額を集中的に投資するということが今までなかったため、一定の学習環境の安全性は保てると思っている。

続いて 37 ページをご覧ください、令和 3 年度の補正予算というかたちで第 1 号を出している。当初予算編成後に新型コロナウイルス関係の色々な事業を追加している。39 ページをご覧ください、スクールサポートスタッフの増員、支援員の追加配置、文化施設及びスポーツ施設の水道蛇口のレバー式への交換である。学校の水道水栓は昨年度レバー式に交換したが、公民館や文化施設はレバー式に交換していなかった。市民の方から要望が出たため、自動水栓までは出来なかったがレバー式に交換する予算を追加している。

会派代表質問通告一覧（資料 5）

それぞれの会派から施政方針の中にある教育部門の質問もあれば、教育方針に対する質問もあった。4 ページからそれぞれの会派の質問とそれに対する答弁を載せている。会派については基本的に教育長が答弁している。

個人一般質問通告一覧（資料 6）

3 月議会についても、新型コロナの関係で 1 人 20 分間の短い質問時間であった。4 ページから質問内容と答弁を載せている。色々な観点から質問があったが、幼児教育について西村議員から質問があり、佐々木豊治議員からはいじめ問題について質問があった。牛尾議員からは学校統合等について質問があった。

草刈課長

福島櫻 21074 実生植樹会からの桜の苗木の寄贈について（報告） （追加資料）

令和 3 年 3 月 17 日に「福島櫻 210714 実生植樹会」から浜田市内の小中学校及び公民館へ桜の苗木の寄贈があった。仲介していただいていた金城町久佐の隆興寺（柳楽一学住職）において寄贈式が行われた報告である。資料に記載がある様に、寄贈者は福島櫻 21074 実生植樹会の代表である厚海幸雄さんであ

る。この会については、ほとんど代表の厚海さんがやっておられるということである。この会は、東日本大震災で亡くなられた方々の供養と福島県の復興を目的として、全国各地の公共施設や寺院などに桜の苗木を寄贈されている団体である。

今回、寄贈いただいた桜の苗木は、種を一つ一つ拾い、発芽されたものをいただいている。苗木 40 本を寄贈していただき、資料の 4. 寄贈先のところで記載しているが、学校 4 校、周布小学校、波佐小学校、金城中学校、旭中学校と公民館 8 館が寄贈先である。学校には 8 本、公民館には 32 本、合計 40 本が贈られる。浜田市の桜を育てる会にも 27 本の桜を寄贈していただいている。数は把握してないが、江津市にも 10 本弱程度、寄贈されたと聞いている。

行事等予定表（資料 7）

期間は 3 月 19 日から 4 月 30 日までの予定である。丸を付けているところは委員方へ出席をお願いしているところである。3 月 31 日の教職員退職・辞職者辞令交付式、その後には昼食会が予定されている。本日の配布物の中に案内を入れると聞いている。またご確認いただければと思う。

それから 4 月 2 日の教職員辞令交付式のところに丸が付いているが、今回は式そのものが中止となったため、中止としている。

それから 4 月 8 日から 4 月 12 日までのところで入学式、入園式には丸が付いていない。本来であれば出席をお願いしているが、コロナ禍の状況で出席者を絞って実施される予定であるため、来賓の方は招かないということでの開催となり、教育委員会も出席しないこととしている。

それから 4 月 30 日が次回の教育委員会定例会の予定である。行事等予定表については以上であるが、先ほどの公立幼稚園の今後のあり方に関する説明会の当日の資料等、別葉でお配りしている。内容については先ほど説明されたとおりである。資料の内容については従前の資料と変わっていない。以上である。

鳥居室長

第 11 回（3 月）市校長会資料（資料 8）

校長会で説明をしている資料である。1. 令和 2 年度島根県学力調査結果については前回の定例会で委員方へ説明させてい

ただているため、後ほど資料でご確認いただければと思う。

2. 来年度の市教育委員会の事業について、①の協調学習の指定校については本年度の指定校である第四中学校と浜田東中学校が引き続いて2年目の取組を行う。②の図書館活用教育についても金城中学校が2年目の取組を行い、もう1校については現在、調整中である。金城中学校は県の指定校としても継続して引き受ける。

③の新規事業であるICTを活用した授業改善についての指定校として、周布小学校を予定している。

それから市教育委員会からの指定ではないが、④の令和3年度島根県人権教育実践モデル園事業ということで、石見幼稚園が指定されている。研究発表会、実践発表会を令和3年11月10日に開催する予定である。

⑤の国立教育政策研究所が行っている調査・研究のための協力校として第一中学校が特別活動（キャリア・パスポート）についての取組を行う。調査官が1度来られて授業公開をする予定である。

それから指定校以外の学力向上総合対策事業については、次のページに大まかなものを記載している。先ほど話をした新規事業であるICTを活用した授業改善に関連する1番の家庭学習の充実のところで、今まで紙ベースで行ってきたプリント配信システムをタブレットドリル版にしている。タブレットドリル版を有効活用して、学校及び家庭学習の充実を図り活用していく。新たな取組である。他にも若干色々と新しいことを考えているが、お金のかからない範囲で考えていく予定である。新年度に入ってから説明をさせていただきたいと思う。

2ページの(3)小中連携教育についてであるが、児童生徒の意識調査の結果が出た段階で報告をさせていただいたが、メディア接触時間と家庭学習時間については芳しくないということで、校長会で協議をした結果、小中連携教育の中でも来年度は生活習慣に関わること、特にメディアコントロールと家庭学習時間の確保については各中学校区全て重点として取り組む方向性で続けている。

3. 一人一台端末の活用について、資料Bとしてたくさんの資料を付けているが、本格的に活用するにあたって児童生徒に対して提示していくルールについて、保護者に向けたルールにつ

いて、それから先生方が児童生徒に操作を説明するための資料等々を校長会と教頭会で提案している。これを受けて検討会議を3月12日に行い、各学校から校長、教頭、教諭2名に参加していただき色々なご意見をいただいて、現在、修正作業をしている。年度末から年度初めにところで学校に伝えられる様に最終調整をしているところである。

4. 次年度のALT等の配置について、配置の基本方針を示している。資料として資料Cとあるが、資料を付けていない。申し訳ない。原則、中学校区にいるALTが小学校に行く。小学校から中学校への接続は同じALTで行ける様に見直しをしている。

5. キャリア・パスポートの引継ぎについてということで、各学校で作ったものが進学先へ確実に渡る様に、それから学校内で次の学年に引継ぐ様をお願いしている。

令和2年度浜田市小中連携教育実践記録集（資料9）

各学校から小中連携教育の実践記録について報告書をいただき、実践記録集としてまとめたものである。ページ数は多いが、各中学校区での取組を載せているため、またゆっくりご覧いただければと思う。

浜田市小中連携教育実践の概要（資料10）

リーフレットを入れさせていただいている。本来なら各中学校区の特徴的な取組が網羅されたリーフレットになるが、今回は表面に生活習慣づくりの中のメディア接触への対応ということで、リーフレットを開いていただいたところには、メディア接触への対応特集を載せている。先ほども話をしたが、メディア接触時間の課題が以前解決できていないことから、保護者の方にももう少し意識を持っていただきたいと思っている。各学校中学校区もしっかりやってきているが、もう少し意識をしてもらいたいということでこの様に記載している。したがって、あと4つの内の3つについては取組を十分に紹介することができないリーフレットになったが、我々の思いを示すためには私はこれでよかったと思っている。また、ゆっくりご覧いただければと思う。メディア接触について、自分で自分の時間をコントロールできる子どもに日常生活でできる様にしていましようかと提案しているが、それを受けて来年度以降の方向と

村木課長

してはこういったことを考えているという中学校区も多数あるため、ありがたいことであると思っている。

第 73 回優良公民館文部科学大臣表彰について(資料 11)

冒頭、教育長報告でも話があったが、白砂公民館が文部科学大臣表彰を受けた。令和 3 年 2 月 25 日に文部科学省で行われた表彰式であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの視聴・出席となった。結果的には北分庁舎 3 階の外との情報が繋がる部屋で実際の表彰式を受けたところである。資料に実際の写真を載せているが、それぞれ 65 団体がオンラインでの参加となった。

主な功績として白砂公民館は特産の西条柿を使った学校との連携、地域との繋がり、また水産都市浜田の魚を使った魚食普及事業、また給食事業との繋がり等が高く評価された。実は浜田市は優良公民館表彰として最初は周布公民館、国府公民館、昨年は雲城公民館、そして白砂公民館ということで今回が 4 館目である。なお、3 月 17 日に報告ということで石田館長をはじめ、職員 3 名が市長表敬訪問に来られた。

HAMADA 教育魅力化コンソーシアムの設立について(資料 12)

高校の魅力化ということで進めてきたものである。横文字でコンソーシアムと謳っているが、これは共同体制を意味している。浜田市では県立浜田高等学校、県立浜田商業高等学校及び県立浜田水産高等学校それぞれの特性を活かした魅力化に向けた取組を推進するため、浜田市県立高等学校支援連絡協議会を平成 30 年 5 月に設立して取組を行っている。この度、浜田市の教育をより一層推進するため既存組織に新たな関係者に参画いただき「HAMADA 教育魅力化コンソーシアム」を設立した。

コンソーシアムの事業として、6 項目記載している。1 項目から 3 項目までは、元々の協議会にあったものを引き継ぐもので、その事業、組織を発展的に開催し、新たに再構築してコンソーシアムを作る。4 項目ではコーディネート機能の強化、5 項目は持続化のための仕組づくり、6 項目は成果を地域の活力創出に還元する仕組づくりをそれぞれの関係機関の方々と協力し合って進めていくために立ち上げている。なお、令和 3 年度は設立ということで立ち上げて、早速令和 3 年度の事業につ

いては4月下旬から5月上旬にかけて計画や予算を付けて事業を推進していきたいと考えている。

中央図書館等への体温検知カメラ設置について（報告）（追加資料）

浜田市立中央図書館、世界こども美術館及び石中央文化ホールに体温検知カメラを設置し運用を開始した報告である。これは、浜田市のコロナウイルス対策支援第4弾、令和2年12月補正で認めていただき、購入したものである。事業主体としては健康医療対策課が主体となって、体温検知カメラの入札、契約、購入をしていただいている。その内の3台を教育委員会の施設に配置したものである。教育委員会内でも施設は多数あるが、一つの基準として一月辺りの来館者が200名以上という基準を設けて、中央図書館、世界こども美術館、石中央文化ホールに設置をした。それぞれ設置日が異なっているが、職員への周知や体制確認等々で日にちはばらばらであるが、現在、設置が整ったところである。なお、この定例会が始まる前に質問があり、1台あたりの単価はいくらということであるが、1台あたりの入札後の1台あたりの税込み単価は271,700円である。

濱見課長

謎解き美術展

浜田市石正美術館開館20周年「描かれた肌」（資料13）

芸術文化施設の企画展等のご案内である。最初に世界こども美術館での「謎解き美術展」についてである。先週から始まっているが、「謎解き」をテーマにしてレベルを初級、中級、上級として、幼児、小学生、中学生と段階的に来館者に合わせて色々な仕掛けをしつつ、開催している企画展である。制限時間を設けており、コロナの関係で致し方ないと思っているが、制限時間内にクイズや謎について挑戦しながら楽しんでもらい、芸術に触れてもらう企画である。先週から5月末までの日程で開催をしている。是非、足を運んでいただければと思う。

続いて、石正美術館の企画展「描かれた肌」である。石本正先生の作品並びに関連する作品を並べる。今年が開館20周年にあたり、これを記念した大きな企画展である。チラシの下にも記載しているが観覧無料期間を設けており、4月7日から4月11日までの期間は観覧料を無料としている。裏面の中段辺

りに「石本正生誕 100 年記念コラボ企画」とあり、今年度が生誕 100 年であったが、コロナの関係で企画展をずらして、4 月から県立美術館で生誕 100 年企画展が始まる。県立美術館と石正美術館の両方をご覧いただけた方には記念品を差し上げるコラボ企画も考えている。こども美術館も石正美術館も春休みをまたいで、ゴールデンウィークを挟んでいるため、しっかり PR をして、新しい来館者を獲得していきたいと思っている。是非、足を運んでいただければと思う。

石本教育長

以上、資料 3 から資料 13 まで、たくさんの報告があった。その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

市原課長

学校教育課から口頭で 2 点、報告をさせていただく。1 点目は卒業式の関係であるが、本日、小学校 6 校の卒業式が終わり、全ての卒業式と卒園式が終了した。特に変わったこと等、報告は受けてないが、色々と感染症対策や入場制限等を行いながら実施している。去年は卒業生と保護者のみというかたちであったが、今年度は小学 5 年生も参加した学校が多かったと聞いている。かたちは変わって、工夫しながらの短時間での式ではあったが、非常に良かったといった報告もあった。

2 点目は修学旅行についてである。本日、第二中学校と第三中学校が九州から帰ってくる。これを以って、今年度、中学校については 5 校終わった。行き先は九州、四国、県東部、鳥取県辺りを旅行している。感染症対策も行いながら無事に本日 2 校が帰ってくると思っている。残りの浜田東中学校、弥栄中学校、三隅中学校の 3 校については、4 月に行う学校が 2 校、6 月の総体以降に行う学校が 1 校、2 学年分行かれるということで計画している。今までの定例会の中でも報告させていただいたが、何とかキャンセル料も発生せずに行えた。資料がなく、口頭で申し訳ないが報告とさせていただく。以上である。

石本教育長

それでは委員方から質問等あればお願いします。

質疑応答

石本教育長

県立美術館で開催される石本正先生の生誕 100 年展覧会であるが、観覧するのに予約が必要と聞いたが電話で予約するのか。

濱見課長

予約が必要ということは、実は本日聞いた。詳しい資料はまだ持ってないが、4 月 2 日から始まる展覧会で予約が要するというこ

石本教育長	とだけは聞いている。詳しく確認ができておらず申し訳ない。
濱見課長	承知した。いきなり行っても入場できないということか。
石本教育長	そうである。
宇津委員	予め予約が要るため、行かれる方は気を付けて出かけていただきたいと思う。
草刈課長	福島櫻 21074 という数字があるが、何か意味があると思うが数字の意味は。
宇津委員	会が発足した時の東日本大震災の死者、行方不明者の数と聞いている。現在はもっと増えて数字が変わっているが、会が発足した時の数字であると聞いている。
石本教育長	承知した。
市原課長	学校で桜を植える時にケーブルテレビの取材があるという話があったが、決まっているか。
草刈課長	取材の確認はできてないが、旭中学校の生徒会が本日、植樹すると聞いている。
石本教育長	基本的に来週のところで植えると聞いているが、取材の話は聞いていない。
草刈課長	私が最初に柳楽さんから聞いた時に学校で植える時にはケーブルテレビに取材に行ってもらい、放送してもらうことを考えていると言われていた。また、取材の日時等、情報があれば教えていただきたい。
石本教育長	承知した。
村木課長	中央図書館等へ設置された体温検知カメラの性能は良いものか。
石本教育長	非常に良いものであると聞いている。マスクの着用が無ければマスクを着用してくださいという音声が出る。
濱見課長	顔を画面の枠内にはめるものか。
石本教育長	そうである。こども美術館と石央文化ホールに出入りした際に設置されていたため使ってみたが、ある程度近づくと自動的に検知される。そんなに待たずに検知されて、マスク有り無し等、体温もすぐに表示された。
各委員	承知した。
	その他はよろしいか。
	特になし。

4 その他

(1) その他

日ノ原係長

定例会に入る前に委員方に少しお話させていただいたが、山びこ学級が現在の生涯学習課のところに入る。それに伴い執務室の移転等があり、この会議室1の部屋については文化スポーツ課の執務室となる。会議室1については、隣の今の文化振興課の部屋に移る。次回の4月30日の定例会にお越しの際には、今の文化振興課の場所が会議室1になっているため、よろしく願います。

各委員

承知した。

石本教育長

事務局からその他何かあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

委員方からご報告やご質問があれば願います。

各委員

特になし。

石本教育長

本日の議題等については全て終了した。

委員方は既にご承知ではあるが、私は3月末の任期満了に伴い退任することになった。委員方には長い間ご指導いただきまして、心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

平成25年11月19日に教育長を拝命した。旧教育委員会制度の中で教育長として1年4か月、そして新しい教育委員会制度になって2期6年ということで、合わせて7年4か月であった。新制度になってからは委員長がいない中で責任も増えて、色々と気持ちの上で厳しいところもあったが、委員の皆さま方に支えていただきながら、また教育委員会の職員の方々に支えていただきながら務めることができたと思っている。

今回、教育長を退任ということではあるが、市の職員から引き続いて教育長を務めていたため、私の気持ちの中では37年間の市役所の仕事を退職するという気持ちの方が実際には強いと感じている。

市の職員として、色々なプロジェクトに関わらせていただいた。今の県立大学の前身である国際短期大学設立の担当を3年間行った。それから世界子ども美術館を立ち上げる時も担当させていただいた。その後、中央図書館を立ち上げる時も1年間ではあったが、計画策定の時に関わらせていただいた。大きなプロジェクトに携わって、私の市役所での仕事の中でも記憶に残ることで、これからもそういった施設のことを思い出しながら暮らしていけることがありがたいと思っている。

前山田教育長から、色々と教育委員会の課題を引き継いだが、

また教育長になってからも新たな課題が次から次へと出てきた。そういったものに一つ一つ丁寧に対応していくという気持ちで取り組んできたが、中々良い方向に結果を導くことができなかった。引き続き、新たな教育長に課題を引継ぎしなければならないことは非常に心苦しく、自分の力のなさを痛感している。そのような状況ではあるが、私としては、前向きに目標に向かって誠実に努力するという生活を信条として取り組んできたつもりである。

議会でも最後の挨拶で伝えたが、浜田の子どもたちには大きな夢を持って、夢の実現に向けてコツコツ自分で努力できる子どもになって大人に成長してほしいと願っている。7年4か月間、教育長として本当にお世話になった。委員方、事務局の職員の方々、健康に十分留意されて、益々、教育行政にお力添えをいただきたいと思う。よろしく願います。本当に長い間ありがとうございました。

次回定例会日程

定例会 4月30日（金）13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 5月27日（木）13時30分から 北分庁舎2階会議室

14：55 終了